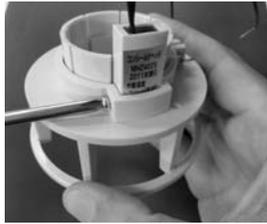
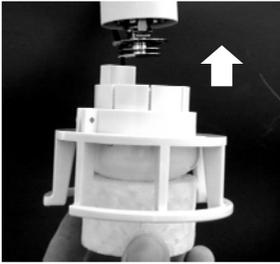
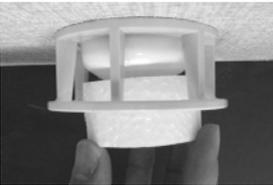
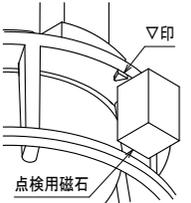
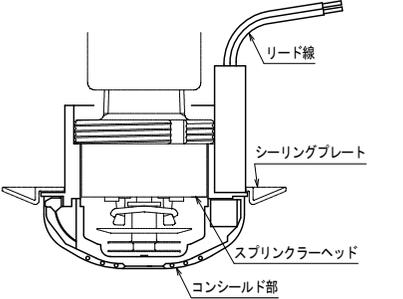
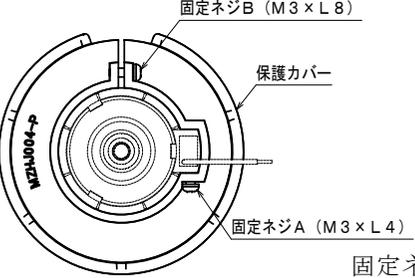
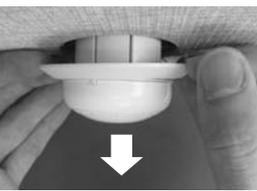
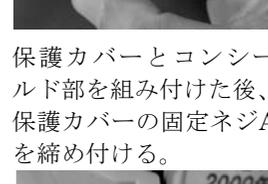
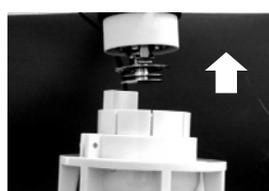
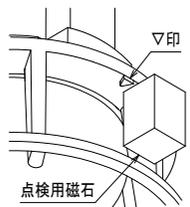
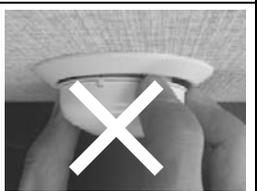
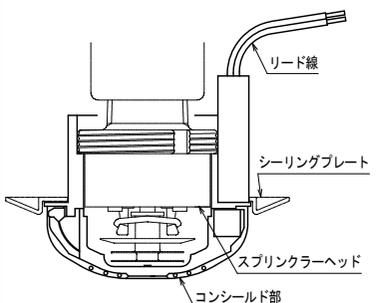
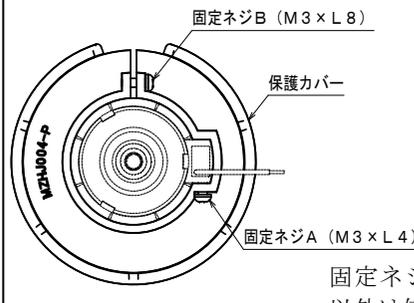
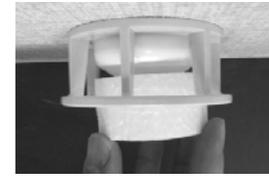


コンシールドヘッド用保護カバー施工要領書

新規で設置するコンシールドヘッドに保護カバーを取り付ける場合

<p>梱包内容を確認</p> <p>①コンシールドヘッド用保護カバー×1個 (固定ネジA,B仮止め済み)</p>  <p>②コンシールド部取付治具×1個 (発泡ポリプロピレン製)</p>  <p>③取扱説明書 (TN60058) ×1枚 ④施工要領書 (本紙) ×1枚</p>	<p>①シーリングプレートを取り外す。</p>  <p>コンシールドヘッドのコンシールド部からシーリングプレートを取り外す。(シーリングプレートは使用しません。)</p>	<p>②保護カバーとコンシールド部を組み付ける。</p>  <p>保護カバーとコンシールド部を組み付けた後、保護カバーの固定ネジAを締め付ける。</p>  <p>固定ネジAは隙間(→部)がなくなるまで締め付ける。これ以上締め付けると樹脂側のネジ山が壊れます。</p>	<p>③コンシールド部を取り付ける。</p>  <p>コンシールド部の結線後、保護カバーに同梱されている「コンシールド部取付治具」を用いて、コンシールド部をスプリンクラーヘッドに取り付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>！ 注意</p> <p>コンシールド部取付治具を使用してください。コンシールド部の外周部は変形しやすいため、手で取り付けると外周部が変形します。</p> <p>45度以上傾いている設置しているコンシールドヘッドには保護カバーを取り付けしないでください。コンシールドヘッドが作動した時に部品が保護カバーに引っ掛かる可能性があります。</p> </div>	<p>④固定ネジBを締め付ける。</p>  <p>露出で設置する場合</p> <p>本体の隙間(→部)がなくなるまで固定ネジBを締め込む。これ以上締め付けると樹脂側のネジ山が壊れます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>！ 注意</p> <p>固定ネジBを閉め込んだ後、しっかりと固定されていることを確認してください。固定が緩いと軽度の外力でもコンシールド部が斜めにずれたり、コンシールド部がスプリンクラーヘッドから脱落します。</p> </div> <p>天井埋込で設置する場合</p>  <p>固定ネジBを締め込む必要はありません。天井穴が小さい場合は、天井穴を大きくします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>！ 注意</p> <p>保護カバー取付後、天井との隙間が無くしっかりと固定されていることを確認してください。固定が緩いと軽度の外力でもコンシールド部が斜めにずれたり、コンシールド部がスプリンクラーヘッドから脱落します。</p> </div>	<p>⑤連動起動試験を実施する。</p> <p>点検用磁石を用いて連動起動試験を実施してください。</p> <p>詳細な試験方法については、試験点検要領書 (TN20276) に従ってください。</p>  <p>点検磁石は保護カバーの▽印に近づけます。</p>
<p>コンシールドヘッドの構造</p>  <p>リード線 シーリングプレート スプリンクラーヘッド コンシールド部</p>	<p>固定ネジの位置</p>  <p>固定ネジB (M3×L8) 保護カバー 固定ネジA (M3×L4)</p> <p>固定ネジA,Bは、指定サイズ以外は使用しないでください</p>				

設置済みのコンシールドヘッドに保護カバーを取り付ける場合

<p>①コンシールド部を取り外す。</p>	<p>②シーリングプレートを取り外す。</p>	<p>③保護カバーの中にリード線をとおす。</p>	<p>④保護カバーとコンシールド部を組み付ける。</p>	<p>⑤コンシールド部を取り付ける</p>	<p>⑥固定ネジBを締め付ける</p>	<p>⑦連動起動試験を実施する。</p>
 <p>設置済みのコンシールドヘッドのシーリングプレートを下に引き下げて、スプリンクラーヘッドからコンシールド部を外す。</p>	 <p>シーリングプレートを外してから、保護カバーを取り付けます。結線済みのリード線を切断せずに保護カバーを取り付けるには、ニッパーなどでシーリングプレートを切断し、コンシールド部の結線をかかわらずにシーリングプレートを取り外します。(シーリングプレートは使用しません。)</p>	 <p>結線済みのリード線をとおす際には、一旦、固定ネジBを取り外し、保護カバーの隙間を利用してリード線をとおす。</p>	 <p>保護カバーとコンシールド部を組み付けた後、保護カバーの固定ネジAを締め付ける。</p>  <p>固定ネジAは隙間(一部)がなくなるまで締め付ける。これ以上締め付けると樹脂側のネジ山が壊れます。</p>	 <p>保護カバーに同梱されている「コンシールド部取付治具」を用いて、コンシールド部をスプリンクラーヘッドに取り付ける。</p>	 <p>本体の隙間(→部)がなくなるまで固定ネジBを締め込む。これ以上締め付けると樹脂側のネジ山が壊れます。</p>	<p>点検用磁石を用いて連動起動試験を実施してください。</p> <p>詳細な試験方法については、試験点検要領書(TN20276)に従ってください。</p>  <p>点検磁石は保護カバーの▽印に近づけます。</p>
<p>！ 警告</p>  <p>コンシールド部を外す時に、コンシールド部の外周部を持たないでください。コンシールド部の外周部が変形するか、コンシールド部が分解します。分解してしまった場合にはコンシールドヘッド全体(コンシールド部とスプリンクラーヘッド)を交換する必要があります。</p>	 <p>コンシールドヘッドの構造</p>	 <p>固定ネジの位置</p>	<p>！ 注意</p> <p>コンシールド部取付治具を使用してください。コンシールド部の外周部は変形しやすいため、手で取り付けると外周部が変形します。</p> <p>45度以上傾いている設置しているコンシールドヘッドには保護カバーを取り付けしないでください。コンシールドヘッドが作動した時に部品が保護カバーに引っ掛かる可能性があります。</p> <p>固定ネジA, Bは、指定サイズ以外は使用しないでください</p>	<p>！ 注意</p> <p>露出で設置する場合</p> <p>天井埋込で設置する場合</p>	<p>！ 注意</p> <p>固定ネジBをねじ込んだ後、しっかりと固定されていることを確認してください。固定が緩いと軽度の外力でもコンシールド部が斜めにずれたり、コンシールド部がスプリンクラーヘッドから脱落します。</p> <p>⑥天井との隙間がなくなるまでコンシールド部を押し込む。</p>  <p>固定ネジBを締め込む必要はありません。天井穴が小さい場合は、天井穴を大きくします。</p> <p>！ 注意</p> <p>保護カバー取付後、天井との隙間が無くしっかりと固定されていることを確認してください。固定が緩いと軽度の外力でもコンシールド部が斜めにずれたり、コンシールド部がスプリンクラーヘッドから脱落します。</p>	<p>天井埋込で設置する場合</p>